



日時	タイトル名	場所・座席	料金	チケット 発売場所	未就 学児
7/10 (日)	開演 14:00 (開場 13:30) 石川綾子 ヴァイオリンリサイタル	大ホール 全席指定	3,000円 (当日 3,500円)	発売中 [ホ] [ぴ] [回] [e+]	×
ボカロ楽曲で注目を集め瞬間に iTunes・Amazon クラシックチャートでNo. 1 を獲得。全豪No. 1 ヴァイオリニスト『デビルズアヤコ』が再び!! 曲目:リベルタンゴ、チャルダッシュ、君の知らない物語 ほか					
7/22 (金)	開演 19:00 (開場 18:30) 金曜トークサロン Vol.26 ～会いたい・知りたい・つながりたい～ 愛し子の母なきあと…～どんぐりの会・奮闘記～	レセプションホール 全席自由	1,000円 (コーヒーか紅茶付)	発売中 [ホ]	×
ゲスト:中山 佳世子 さん (どんぐりの会会長・NPO 法人団栗会副会長) 聞き手:松本真理子 (マリンバ奏者・大和郡山市音楽芸術協会会長・やまと郡山城ホールアドバイザー)					
7/23 (土)	開演 13:00 (開場 12:30) 第 11 回 青少年吹奏楽コンサート	大ホール 全席自由	入場無料	—	○
市内の5 中学と郡山高校、法隆寺国際高校が出演予定。ダイナミックで多彩な演奏をお楽しみください。					
8/19 (金)	●午前の部 開演 10:00 (開場 9:30) ●午後の部 開演 13:30 (開場 13:00)	懐かしの映画会 ～懐かしの優れた映画を観ましょう～ ●午前の部 『黒い画集 あるサラリーマンの証言』 ●午後の部 『白い巨塔』	小ホール 全席自由 ※各部入替制	各 500円 発売中 [ホ]	×
午前の部 『黒い画集 あるサラリーマンの証言』(1960 年 95 分) (出演:小林桂樹、原知佐子、平田昭彦) 午後の部 『白い巨塔』(1966 年 150 分) (出演:田宮二郎、東野英治郎、藤村志保)					
9/2 (金)	開演 18:30 (開場 18:00)	宝くじ まちの音楽会 南こうせつ with ウー・ファン ～心のうたコンサート～ 	大ホール 全席指定	2,000円 (当日 2,500円) 7/3(日)10:00～発売 [ホ] [回] [e+] ※ホール初日電話 予約は 13:00～	×
※宝くじの助成による特別料金です。前売りで完売した場合は、当日券はありません。※チケット購入は1人4枚まで。 出演:南こうせつ、ウー・ファン 曲名:神田川、妹 ほか					
※チケット欄の記号 = 発売場所 [ホ]:やまと郡山城ホール窓口 [ぴ]:チケットぴあ [回]:ローソンチケット [e+]:イープラス					



市長てくてく城下町 136

金魚と暮らす・金魚を育てる文化 大和市長 上田 清

今から 10 年ほど前、イタリアのモンツァという町で「金魚鉢禁止令」が制定されました。

ペットショップの店主に向けた条例で「金魚鉢は丸い形をしているため、その中に入れられている金魚の目には外の景色が歪んで見えるから」。

いやはやこんな見方があるのかと笑ってしまいましたが、提唱した人たちは至って真面目でその後ローマでも同様の条例が制定されています。

一方、わが国で金魚鉢といえば四角くて、全面が透明の水槽が当たり前となり、それこそイタリアで問題となった丸い金魚鉢など、ついぞ見かけなくなったのは何とも皮肉ではありませんか。

ただ、最近気がついたことがひとつあります。

というのも、毎年のように産卵するため、わが家の水槽も増え、それでも足りずにこの春まで、古い火鉢に水を張って金魚を飼っていたのですが、藻が繁殖して濃い緑色になった水の中からすく上げた金魚は、ほかのどの金魚よりも鮮やか

でつやのある赤色になっていたのです。

びっくりしました。

光があまり届かない火鉢の金魚にはストレスがかからないのでしょうか。

そうした中、国の地方創生加速化交付金というしくみを全面的に活用し、『全国金魚のお部屋・おうちデザインコンテスト』がスタートしました。

テーマは「金魚と暮らす・金魚を育てる文化」。江戸時代の金魚は、たらいなどで鑑賞するのが普通で、上から見て美しい金魚が求められました。

透明の水槽が普及した今、金魚は横から見るものになっていますが、たまに上からのぞくと金魚の違った世界が目

に飛び込んできます。金魚と暮らす。心豊かな作品を期待しています。

